

## 平成29年度 地域自立支援協議会交流会（全体会②）

（会長結びのコメント）

会長：

- 一言でというのはなかなか難しいと思うが、掴みのあるキャッチコピーを考えていただき、その心にはたくさんの思いがあるのだということを感じながら聞いた。自地域の強みが課題解決の資源になっていくので、是非、ここで感じ考えたことを地域の協議会に持ち帰っていただいて皆さんと共有し、次の活動につなげていっていただきたい。
- 協議会はボトムアップをコンセプトとしているが、実際はトップダウンでやっているところもあると思う。ここにきて、自分たちの地域に合った協議会のあり方、運営、構成メンバー等も考えていっていい段階に入ってきたのではないかと感じている。協議会という場が保障されたということは大きいと思う。自分たちの地域に足りないところを、協議会の場を使って、地域独自の持ち味をエッセンスとして入れ込んでいくと、また新しい展開につながっていくのではないかと感じた。いろいろな強みが言葉となって出たので、新しいものが生まれるような期待感を感じた。
- 最後に、当事者の方がこの交流会にもっと参加しやすいように、というお声をいただいた。本当にその通りだと思う。それぞれの自治体でできること、広域でできること、そして東京都の協議会が担うべき役割も一緒に考えていっていただきたいので、是非、アンケートなどにも、都の活動はこういうことに取り組んだらどうかとか、こういう意見を取り上げてほしいということも一緒に考えて記入いただければ、非常に心強く思う。
- 今日は本当に限られた時間だったが、皆様のいろいろなアイディアで交流につながったと思っているので、これで終わりではなくて、明日につなげていただきたいと思う。